

コロナ禍でもできる!!

# 失敗しない海外調達のポイント

7つのコラムから解説する  
海外部品調達のためのノウハウ



近代精機株式会社  
KINDAI SEIKI CO.,LTD.

# 目次

---

コラム	.....	P03
I どんな加工品が海外調達に向いているの？	.....	P03
i はじめに	.....	P03
ii 海外調達に向いている加工品	.....	P03
II 海外部品加工と国内部品加工の流れの違い	.....	P04
i はじめに	.....	P04
ii 海外部品加工と国内部品加工の流れの違い	.....	P05
III 失敗しない海外部品調達先の選び方	.....	P06
i はじめに	.....	P06
ii 海外部品調達先の条件	.....	P07
IV おすすめの部品調達先	.....	P08
i はじめに	.....	P08
ii 部品調達先	.....	P09

# 目次

---

<b>V 海外部品調達で気を付けること</b>	..... P10
i はじめに	..... P19
ii 注意点	..... P10
<b>VI ありがちな海外部品調達トラブル</b>	..... P11
i はじめに	..... P11
ii トラブルケース	..... P12
<b>VII コロナ禍の変化による海外部品調達における注意点</b>	..... P13
i はじめに	..... P13
ii コロナ禍における海外部品調達の变化	..... P14
III コロナ禍の変化による海外部品調達での注意点	..... P15
<b>会社概要 / お問い合わせ</b>	..... P16
<b>VIII 会社紹介</b>	..... P16
会社紹介	..... P16
<b>IX お問い合わせ</b>	..... P17
お問い合わせ	..... P17

# 1.どんな加工品が海外調達に向いているの？

海外調達に向いている加工品について解説します！

## はじめに

加工品の海外調達とひとえに言っても、海外会社はどんな部品に対応しているのかが分からず、なかなか最初の一步が踏み出せないという会社様も多いのではないのでしょうか。ここではそんな疑問と不安を解決すべく、海外調達に向いている部品とその理由について解説していきます。

## 海外調達に向いている加工品

海外調達に向いている加工品について「材質」と「数量」に分けてポイントを解説します。

### 1 海外調達に向いている加工品の特徴 一材質一

基本的に海外部品調達にインコネルやチタンなどの難削材は向いていません。また精度についても超精密加工などは難しい場合が多いです。目安としては1/1000程度の精度まででは対応ができる可能性があります。高い技術に基づいた細かな作業を行う事の出来る日本と同じ感覚で海外に加工依頼をするのは危険と言えるでしょう。

また大きさについては、送料の都合上あまり大きすぎる加工品は依頼しない方がよいです。しかし海外は基本的に人件費が日本国内より安いいため、加工品が大きく送料が高くなってしまうような場合でも人件費によるコストカットが送料の分の価格高騰を超えるという場合も考えられます。

### 2 一度に依頼すべき数量について

海外で部品調達を行うにあたって、図面一枚や二枚程度の注文の場合、高めの見積もりが返ってくるが多くなります。また依頼が不定期で安定しないという場合も高めの見積もりが来ます。他にも月に数十万円程度の安価な注文の場合、送料がコストダウン幅を超えマイナス収支になってしまう事があります。これを避け安価な見積もりを出すためにはとにかく依頼の個数を増やすことが必要です。一枚の図面で何小物部品の依頼を送ったり、数十枚以上の図面を送るなどして一度にたくさん見積もりを行う事でより多額のコストダウンを実現できます。

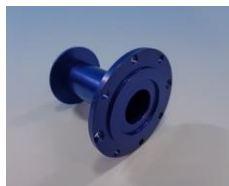
## 2.海外部品加工と国内部品加工の流れの違い

海外部品加工と国内部品加工の流れの違いを「輸送」と「税金」の観点から解説します！

### はじめに

「海外製の加工部品調達」に対して、皆様はどのようなイメージを抱いていらっしゃるでしょうか。「見積・依頼の手順は？」「輸入に際してかかる特別な費用はないの？」「どれくらいの日数がかかるの？」などなど、日本の会社に加工依頼をする際には生じない様々な疑問を抱えた方も多くいらっしゃるのではないかと思います。

この記事ではそんな疑問を解決すべく、海外での加工部品調達の流れについて、日本での調達と比較しながら解説していきます。



## 2.海外部品加工と国内部品加工の流れの違い

海外部品加工と国内部品加工の流れの違いを「輸送」と「税金」の観点から解説します！

### 海外調達に向いている加工品

結論から言うと、基本的に海外であっても部品加工の流れ自体は国内とあまり変わりません。

海外でも日本とほぼ変わらず、見積依頼(メールに画像を貼付して行う)→回答→(双方の同意を取ることができれば)発注→発送→受領というプロセスになっています。ただそれぞれのプロセスの中身には異なる点が存在します。主な相違点としては、やはり発送から受領までにかかる期間(輸送期間)や課される税金などになってきます。

#### 1 輸送にかかる期間

通常、海外からの輸入品は通関業務というチェックを受けなければ国内に持ち込むことは出来ません。この通関業務では税関にて貨物の品名、種類、数量、価格など様々な情報を申告し検査を受ける事が必要とされます。加工部品もこの例に漏れず通関作業を経なければ輸入ができないため、海外製の加工部品は国内製の同じような部品と比較して平均3日程度、輸送期間が長くなってきます。

また、近代精機株式会社ではこの輸送から通関業務までの流れをDHLというドイツに本社を置く世界最大の国際輸送物流会社に依頼しています。DHLは荷物の追跡や保証のサービスを行っており、安全性や信頼性といった面も日本で業者に依頼するのと遜色ないものとなっています。

#### 2 税金

これも税関にて輸入消費税として10%程度の手数料が課されますが、海外製の部品は日本の消費税の課税対象にはならないため、実質的に国内加工部品との課税額の違いはないということが出来ます。基本的に海外製部品はそのものの値段が日本製部品より安価であるため、課税額が変わらない事はコストダウンと同義になります。

またこの手数料はかからない場合もあります。近代精機株式会社では税関と直接やり取りをしているため手数料は0%となっており、さらなるコストダウンを実現することが可能となっています。

### 3.失敗しない海外部品調達先の選び方

税関との信頼関係とコミュニケーションという観点から解説します！

#### はじめに

海外での部品調達を始める際の部品の調達先というのはその後の取引を大きく左右する要素になってきます。もし調達先選びに失敗してしまえば、コストダウンや作業にかかる工数削減を目的として始めた海外部品調達がその逆効果になってしまう、なんていう事態も起こるかもしれません。

ここではそんな失敗を避けるべく「失敗しない海外部品調達先の選び方」を皆様にお伝えしたいと思います。



## 3.失敗しない海外部品調達先の選び方

税関との信頼関係とコミュニケーションという観点から解説します！

### 海外部品調達先の条件

海外部品調達先としてふさわしい条件は、大きく分けて二つ存在します。それは「税関との信頼関係があるか否か」「適切かつ迅速なコミュニケーションが取れるかどうか」です。

#### 1 税関との信頼関係

まず税関との信頼関係についてです。税関検査とひとえに言っても、全ての輸入者に全く同じ検査を行うのかというとそうではありません。税関検査を何度も問題なくパスしている会社と過去に何らかの事情で引っかかったことがあるというような会社では、もちろん後者に対する検査の方が厳しくなります。

検査が厳しくなり長引くことによって当初の予定以上に部品納入までの時間がかかってしまうなどという事もありますので、過去の輸出入取引に不備がなく税関からの信頼性の高い調達先であるという事は、部品調達先選びにおいて非常に重要になってきます。

#### 2 コミュニケーション

続いてコミュニケーションについてです。なんといっても海外との取引になりますので、まずは「言葉」に非常に気を配らなければなりません。そこでまず選ぶべきは、日本語の堪能な担当者を置いている会社です。これによりコミュニケーションの円滑性が段違いに向上します。それに加え日本語を扱う事の出来る人材がいるという事は、それだけ日本との取引関係を重要視している事の証左に他ならず、過去の実績などもあるはずですので取引自体もスムーズに進めることが出来る可能性が高まります。

また日本語を扱う事の出来る人材を置いている会社の中でも技術相談や質問、見積に対するレスポンスが速く(具体的には技術相談と質問は一日以内、見積は二日以内が目安)、メールで気軽にやり取りのキャッチボールができる会社というのはさらに優先して選ぶべき対象となるでしょう。



## 4.おすすめの部品調達先

海外におけるおすすめの部品調達先をご紹介します！

### はじめに

海外における加工部品の調達先としてより適当な国はどこなのでしょう。距離やコストの面から鑑みると主にアジア圏の近隣の国々が候補となってくるわけですが、どの国にもそれぞれの特徴が存在します。

ここでは海外からの部品調達先として名前が挙がることの多い「台湾」「タイ」「中国」について、それぞれの特徴を解説していきます。



## 4.おすすめの部品調達先

海外におけるおすすめの部品調達先をご紹介します！

### 部品調達先

#### 1 台湾

台湾は日本と同じく資源に乏しい島国という事もあり、加工貿易をおもな産業としています。そのため高い部品加工技術を有している会社が多く存在します。また国自体が全体として日本に対してよい感情を抱いている傾向があるため、日本語の対応なども問題ありません。

これだけ書くと非常に優良な取引先に見えますが実は短所も存在します。台湾はその他のアジア諸国のような圧倒的人材リソースを備えていないため、コストダウンに限界があり価格が高くなりがちになってしまうのです。

#### 2 タイ

タイの特徴はなんと言っても低コストです。タイの人件費はだいたい日本の1/4と言われており、コストダウンという観点ではこれ以上ない国と言えます。

そんなタイにおいても懸念点として挙げられる要素は存在します。タイは昨今の日本でも問題となっている少子高齢化が進んでおり、将来的にマーケットが縮小していくことは避けられないと言われています。またタイは立憲君主制を敷いているため政治情勢が不安定である、国民一人一人の性格的にもノンビリとした人が多く短い納期であったり多品種の小ロット等細かい作業・取引が必要とされる日本の商習慣に適応が難しいなど文化・政治的な面で様々な不安を抱えているのです。

#### 3 中国

中国の特徴は世界最多の人口に基づいた超巨大なマーケットと圧倒的な速度で経済発展を続ける国の勢いです。中国は近くに存在する日本を市場として重視しており、積極的に営業を行っています。また日本語への対応力も高くコミュニケーションにも問題がありません。

中国にもタイ同様様々な政治不安や昨今世界中を揺るがしている新型コロナウイルス問題など様々な不安・懸念点は存在しますが、それを補ってあまりある魅力が中国には存在するという事が出来ます。部品の海外調達先としては中国を選ぶのが無難と言えるでしょう。

## 5.海外部品調達で気を付けること

海外部品調達で気を付ける点についてポイント2点から解説します！

### はじめに

海外での部品調達は、日本のそれとは勝手が違います。日本でのそれと同じような感覚で臨んでしまうと、様々な不都合に対応できなくなってしまいます。ここでは海外での部品調達における注意点を、主に現地会社とのコミュニケーションという点に注目してお伝えしたいと思います。

### 注意点

海外調達に向いている加工品について「材質」と「数量」に分けてポイントを解説します。

#### 1 窓口と現場の温度感の違い

海外であっても、窓口日本語の対応が可能な担当者を置いている会社は多いです。そのような場合、担当者とのやり取りは非常にスムーズに進むかもしれませんが、油断は禁物です。なぜなら窓口は日本語の読み書きができて、現場の作業員一人一人も可能かと言ったらそんなケースは皆無と言っていいからです。現場の作業員は図面に書いてある大事な情報でも読めない飛ばしたり見落とす等という事をする場合もありますので注意を払いましょう。図面に現地の公用語で現場向けの指示を入れるなどすればそのような事態を未然に防ぐことが可能になります。

#### 2 納期について

納期についても注意が必要です。会社や国によっておらかな雰囲気がある場合は納期をなかなか守ってくれない場合がありますし、そうでなくキッチリと守ってくれる場合でも、海外の通関で止められてしまえば数日の遅れが発生することは避けられません。

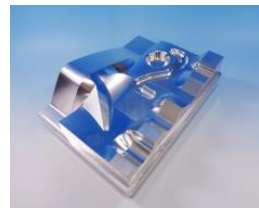
ある加工部品が特急でほしかったり、何が何でも切らしたくないという場合は日本の会社に頼むのが無難と言えるでしょう。

## 6.ありがちな海外部品調達トラブル

海外部品調達におけるトラブル3点を解説します！

### はじめに

海外にはトラブルがつきものです。皆様も旅行などで海外を訪れた際、様々なトラブルに見舞われた経験がおりなのではないでしょうか。仕事における取引でも同様にトラブルは発生します。ここでは海外での部品調達をする際によく起こるトラブルについて解説していきます。



## トラブルケース

### 1 異材

まずは異材トラブルについてです。異材とは文字通り依頼した材質とは異なる材質で製品が届いてしまうという事です。SUSやアルミの番手違い等といった細かいミスどころか、そもそも鉄材で依頼したものがアルミで来るなどといった奇想天外なトラブルもあるという話も聞きます。何が起きても動じないよう心の備えが必要と言えるでしょう。

### 2 処理ミス

加工部品には様々な処理が施されるのが常ですが、それが間違っている、トラブルが発生することがあります。例えば硬度を調整するために熱処理をしたのに肝心の硬度が当初の条件に合っていない等です。このような場合、海外では熱処理証明は出てこないことが多いので硬度証明書を添付してもらう事が必要になります。

その他の例としては表面処理忘れといったことも発生する場合があります。タフライド処理や塗装が施されていない等です。注文する際には何度も念押しをするようにしましょう。

### 3 その他

その他にも数字の6と0を間違える等のミスもよくある話です。日本国内の会社に依頼した時のように向こう側から疑問点やややこしい点の確認に連絡が来る事は基本的にないので、FAXでの図面の場合は読み取りやすい字に書き直すなど未然にトラブルを防ぐ対策を行いましょ。

また輸入の際に必要な申告書類(インボイス)もいい加減に作られていることが多いです。いい加減にすることで送料を安くしようとしているため、それが税関の検閲によって発覚した場合などはあとから修正が必要になることもあります。

## 7.コロナ禍の変化による海外部品調達における注意点

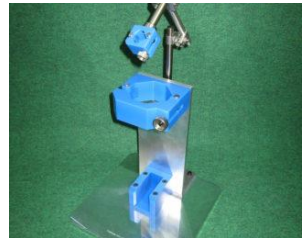
コロナ禍における海外部品調達での注意点を解説します！

### はじめに

現在コロナ禍で様々な面での変化が起きています。

海外部品調達もコロナ禍の影響を受けて様々な変化が起きており、これまで以上に気を付ける点、今後の対策を把握する必要があります。

今回はコロナ禍における海外部品調達を行う際の注意点・対策について解説していきます。



## コロナ禍における海外部品調達の变化

### 1 コスト面

コロナを期に部品の輸送期間が1~2日伸び、輸送コストが以下のように大幅にかかるようになりました。

■コロナ前: 400円~500円/1kg

■コロナ禍: 1000円/1kg

このコストの上昇は、飛行機の便数が激減したことが原因と言えます。

### 2 品質面

コロナを境に品質面への影響も出ています。

コロナの影響で海外への渡航が厳しくなり、中国に直接行けなくなってしまいました。その結果、生産現場への定期的な確認や直接のコミュニケーションができなくなりました。

また、特に中国の場合は人の入れ替わりや下請け会社の廃業が盛んに行われており、製造オペレーターや下請けの加工業者の変化が起こり、品質に影響をきたしていることが予想されています。

製造現場との直接のコミュニケーションの不可、製造現場自体の変化に伴い、品質面への影響が考えられます。

### 3 納期面

ここまで解説した「コスト面」「品質面」の項目内でも書きましたが、下記2点を理由として納期面にも影響が出ています。

① 飛行機の便数の激減

② 製造現場とのコミュニケーションが取りづらくなっていること

## 7.コロナ禍の変化による海外部品調達における注意点

コロナ禍における海外部品調達での注意点を解説します！

### コロナ禍の変化による海外部品調達での注意点

コロナ禍の変化による海外部品調達における影響として「コスト面」「品質面」「納期面」の3つを挙げました。

この影響に関する海外部品調達を行う際の注意点として、以下の点があります。

- 1 余裕を持った計画的な発注を一層気をつけること**

飛行機の便数が激減している等の影響が発生しており特急対応・短納期が確約できなくなったため、より計画的な発注を心掛けることが重要です。
- 2 発注するものが重要・精密な部品であれば、発注先に製造オペレーターや下請けの加工業についての変化を確認**

コロナ前後で、現場の製造オペレーターや下請けの加工業者の変化による品質面での影響が想定されるので、より製造現場の変化を把握しておくことが重要です。
- 3 信頼できる協力加工業を複数もっている調達先の開拓**

コロナ禍においては直接のコミュニケーションも厳しい状況であり、数多くの協力工場と連携することは難しくなっています。  
加えて、廃業によって今後も調達先が減少する恐れがあるため、信頼できる協力加工業を複数もっている調達先を開拓・厳選し、結びつきを強化していくことが重要となります。



## 会社紹介

部品の海外調達コストダウンセンター 運営会社のご紹介

## 会社概要

会社名	近代精機株式会社
設立	1964年3月
代表取締役	可児 宜彦
従業員数	20名
所在地	〒457-0862 愛知県名古屋市南区内田橋2-8-1
TEL	(052) 692-8201 代表
FAX	(052) 692-8225
資本金	1,500万円
年商(千円)	1,100,000円
事業内容	電動油圧工具・測定工具卸売 / 作業工具・切削工具卸売 油圧・空圧機器 / メカ口機器卸売 / 荷役
治工具製作	国内多数 / 中国 / タイ / ベトナム
取引銀行	三菱東京UFJ 銀行 金山支店 三菱東京UFJ 銀行 熱田支店 十六銀行 内田橋支店

# 海外部品調達に関するお悩みは お気軽にご相談ください！

近代精機株式会社が運営する「部品の海外調達コストダウンセンター」では、全国の加工事例、海外調達やコストダウンのポイントをまとめたコラムを掲載、随時更新しております。

近代精機株式会社では、数十人程度の企業様から大手企業様まで数多くの海外調達実績がございますので、海外部品調達に関してお悩みの方はぜひお気軽にご相談ください！

海外部品調達に関するお問い合わせ・技術相談は  
下記QRコードまたはURLより「部品の海外調達コストダウン  
センター」のお問い合わせフォームよりお願い致します。



[https://overseas-parts-processing.com/contact\\_us/](https://overseas-parts-processing.com/contact_us/)



近代精機株式会社

**KINDAI SEIKI CO.,LTD.**

近代精機株式会社

〒457-0862 愛知県名古屋市南区内田橋2-8-1

TEL: (052) 692-8201 代表